

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年6月11日

松江市長 殿



提出者

住 所 広島県広島市中区小町1-25

氏 名 株式会社大林組広島支店

常務執行役員支店長 和國 信之

電話番号 082-242-5013

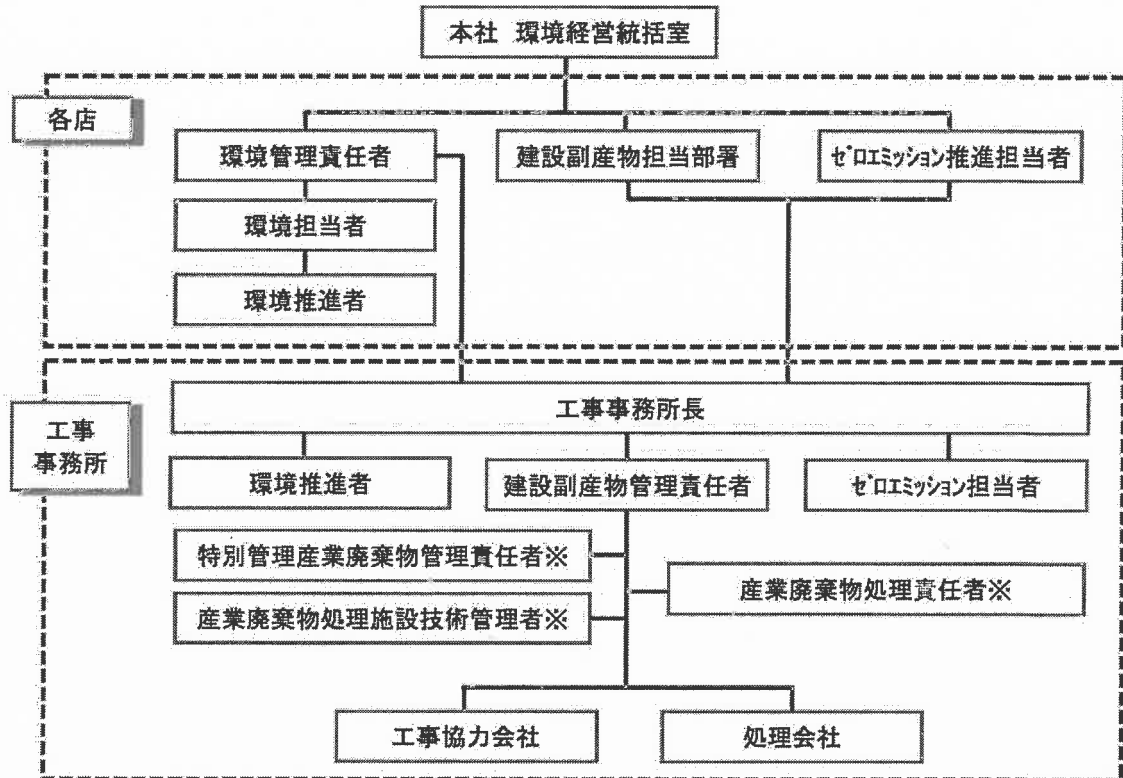
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社大林組広島支店
事業場の所在地	広島県広島市中区小町1-25
計画期間	令和 6年4月1日～令和 7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	526,258万円
③従業員数	330名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR A[施工発生] --> B[保管] B --> C[収集運搬] C --> D[中間処理
(再生・資源)] D --> E[再生品
(有価物)] D --> F[最終処分] </pre>

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 新築建築工事の建設廃棄物総排出量の目標設定		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 新築建築工事の建設廃棄物総排出量の目標設定		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新築建築工事の混合廃棄物単位排出量の目標値設定
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新築建築工事の混合廃棄物単位排出量の目標値設定

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙1のとおり		t
	(これまでに実施した取組)			
	現在実施していない			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙1のとおり		t
	(今後実施する予定の取組)			
	今後も実施計画はない			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙1のとおり		t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
現在実施していない				
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
今後も実施計画はない				
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙1のとおり		t
	(これまでに実施した取組)			
	現在実施していない			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
	今後も実施計画はない			

(第4面)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	全 処 理 委 託 量	t	t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙1のとおり		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	(これまで実施した取組) リサイクル率、ゼロエミ達成現場の目標値設定			
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
全 処 理 委 託 量		t	t	
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t	
再生利用業者への 処 理 委 託 量		別紙1のとおり		
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t	
(今後実施する予定の取組) リサイクル率、ゼロエミ達成現場の目標値設定				
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(令和6年度計画)

別紙1

多量排出事業者 名称	株式会社 大林組 広島支店	所在地(市町名)広島市中区小町	事業の種類	総合工事業
------------	---------------	-----------------	-------	-------

区分	種別	排出物に關する事項		自ら行う再生利用に關する事項		自ら行う中間処理に關する事項		自ら行う廃棄物分別に關する事項		他社委託に關する事項		他社委託に關する事項		認定回収業者以外の処理委託	
		排出量	性状	計画	現状	自ら処理を行う産業廃棄物の量	性状	計画	現状	委託処理量	性状	計画	現状	委託処理量	性状
産	燃え殻														
	汚泥	61.5		10						61.5		10	61.5	10	
	廃油														
業	廃アルカリ														
	廃プラスチック類	3.4		2						3.4		2	2.0	0.6	1
	紙くず	0.5		0.5						0.5		0.5	0.5	0.5	
廃	木くず	0.5		0.5						0.5		0.5	0.5	0.5	
	繊維くず														
	動植物性残さ														
棄	動物及び植物性残物														
	ゴムくず														
	金属くず	0.4								0.4			0.4		
棄	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	0.3		0.3						0.3		0.3	0.0	0.5	
	紙くず														
	がれき類	2,348.9		500						2,348.9		500	0.1	2,344.8	500
物	動物のふん・尿														
	動物の死体														
	ばいじん														
物	13号廃棄物														
	建設資材廃棄物	48.8		5.5						48.8		5.5	48.8	29.8	3
	廃電線・電線管														
物	石粉等生産物														
	計 (A)	2,459.4		519.0	0	0	0	0	0	2,459.4		519.0	110.8	2,378.1	516.5

(単位:トン)